

令和8年度 防災に係る訓練について

No	訓練名	目 的	実施日	実施場所	主な参加者	内 容
1	土砂災害防災訓練	土砂災害に対する避難体制の強化と防災意識の向上を図り、地域の防災力を高めることを目的とする。	・ 6月14日（日） ※土砂災害防止月間（6/1～30）中の実施	・ 鍛冶屋会館	・ 鍛冶屋区民	土砂災害を想定し、自宅等から避難所まで避難したのち、的確な避難行動をとるための基本的な知識について周知、その後、感染症対策に配慮した避難所開設訓練を実施した。 なお、各地区順次訓練を実施する。
2	津波対策訓練（海水浴場）	大規模地震発生時の津波対応力を高めるとともに海の家事業者等との連携体制を検証し、あわせて津波に対する海浜利用者及び沿岸住民への普及啓発を図る。	・ 7月11日（土） ※海開きに併せて実施	・ 吉浜海水浴場	・ 海浜利用者 ・ 海の家事業者 ・ 湯河原海水浴場協同組合 ・ 吉浜海水浴場警備本部	津波警報（訓練）の発表により、海の家事業者に「津波フラッグ」を掲揚してもらい、海水浴場警備本部及びライフセーバー等により海浜利用者を砂浜まで誘導する訓練を実施する。
3	湯河原町総合防災訓練	災害に対する基本的な考え方である「自分（たち）の身は自分（たち）で守る」という自助・共助の大切さを再認識していただく。	・ 9月27日（日） ※酷暑を避けて実施	・ 各区で設定 ・ 防災コミュニティセンター	・ 町民 ・ 防災関係機関及び団体 ・ 町職員	訓練内容や参加範囲を次のとおり計画する。 ○町職員訓練 災害対策本部を防災コミュニティセンターに設置し、防災関係機関及び協力団体と連携し、同本部の運営訓練と各対策部が計画する現地対策訓練を実施する。 ○自主防災組織訓練 訓練内容や区民の参加範囲は、各自主防災組織の計画とし、地震対策訓練のほか、沿岸地区においては津波避難訓練を併せて実施する。 ○関係機関・協力団体の派遣要請 町職員訓練又は自主防災組織訓練への派遣要請という形で参加を依頼する。
4	津波避難訓練（沿岸地区）	町内の沿岸地区を対象に、地震及び津波が発生した想定で、避難訓練を実施し、津波避難意識の向上を図る。	・ 9月27日（日） ※総合防災訓練と連携して実施	・ 町内沿岸地区（吉浜、福浦、中央、門川区）	・ 町内沿岸地区住民（吉浜、福浦、中央、門川区）	地震及び津波の発生想定で、沿岸地区住民に津波襲来時間に合わせ、避難行動を実施し、津波襲来までにどこまで避難できるか及び避難経路の問題点などを現地と「ゆがわら防災マップ」により確認する。
5	防災講演会	近年、多種多様な災害が発生しており、多方面から災害に関する知識を学ぶことで、より一層の関心を持っていただく。特に、知る・見る・体験するを通じて自助・共助の重要性を認識いただく。	・ 1月下旬～2月中旬	・ 防災コミュニティセンター	・ 町民 ・ 防災関係機関・団体 ・ 町職員 ・ 定員90名（公募先着順）	一般に話題となっている災害対策をテーマに、有識者を講師に迎え、災害対策についての認識を深めるとともに、来場者が知る・見る・体験するための各種防災ブースを設定する。（令和7年度まで実施していた富士山火山防災訓練の火山灰体験はこの会場で実施する。）